

End of Result Set



Generate Collection

L31: Entry 16 of 16

File: DWPI

Oct 29, 1973

DERWENT-ACC-NO: 1984-013549

DERWENT-WEEK: 198403

COPYRIGHT 2002 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Concentrating bamboo-shoot extract - to obtain solid with anticancer fungicidal and bactericidal activity

PATENT-ASSIGNEE:

ASSIGNEE

CODE

TSUCHIYA T

TSUCI

PRIORITY-DATA: 1972JP-0010092 (January 27, 1972)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO

PUB-DATE

LANGUAGE

PAGES

MAIN-IPC

JP 48080710 A

October 29, 1973

002

APPLICATION-DATA:

PUB-NO

APPL-DATE

APPL-NO

DESCRIPTOR

JP48080710A

January 27, 1972

1972JP-0010092

INT-CL (IPC): A61K 0/01

ABSTRACTED-PUB-NO: JP48080710A

BASIC-ABSTRACT:

Concn. of excellent fungicidal, bactericidal and carcinostatic substances obtd. from bamboo leaf extracts, extracted with organic solvent (pref. containing polar group) is claimed. The solvent is removed from the extract by distn.; (another) solvent is added to the residue, cooled as such or after heating; or any insoluble substances are removed while hot to obtain a hot transparent soln. The cooled soln. separates into solid which is then collected. The solid is opt. decolorised and purified.

Solid substance obtd. from bamboo leaves has excellent fungicidal and bactericidal effects. Rice cake contg. 0.1% solid substance did not become mouldy after being left for one month in the winter.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.0/0

TITLE- TERMS: CONCENTRATE BAMBOO SHOOT EXTRACT OBTAIN SOLID ANTICANCER FUNGICIDE BACTERIA ACTIVE

DERWENT-CLASS: B04 C03

CPI-CODES: B04-A07F; B12-A01; B12-A02; B12-G07; C04-A07F; C12-A01; C12-A02; C12-G07;

CHEMICAL-CODES:

Chemical Indexing M1 *01*

Fragmentation Code

M423 M720 M781 M903 N161 P220 P241 P633 V400 V406

SECONDARY-ACC-NO:

CPI Secondary Accession Numbers: C1984-005643



(特許法第38条第1項第1号の
規定による特許)

特 許 願

昭和47年1月27日

特許庁長官 井 土 武 久 殿

1 発明の名称 笹類の葉より優れた防菌、滅菌並び
に制ガン作用を有する物質の濃縮法

2 特許請求範囲に記載された発明の数 2件

3 発明者 出願人と同じ

4 特許出願人 住 所 郵便番号 156

東京都世田谷区板橋上水4-1-8-101

氏 名 土 屋 知 太 郎

5 添附書類目録

明 細 書 1 通

願 書 副 本 1 通

明 細 書

発明の名称 笹類の葉より優れた防菌滅菌並びに制ガン作
用を有する物質の濃縮法

発明の詳細なる説明

本発明者は笹類の葉を有機溶媒（特に極性基をもつもの）で抽出し、抽出物より溶媒を蒸溜除去し、残留物に溶媒を加え、そのまゝ又は加温したのち冷却し、或は熱時不溶性物質があればこれを除去して熱時透明な溶液を冷却し固体部を分別捕集する。この物質（固体部）は優れた防菌、滅菌効果を有することを知った。即ち上記の固体物質を先づ少量の撚き立ての「モチ」に添加しよく混和したのち新たに「モチ」を加えてよく混和し、結局上記の固体物質0.1gを含むものを調製した。このものは冬季1ヶ月経過しても黴を生じなかつたが、添加しないものは4日経過後毛のような細長い黴を生じ、9日後には黒黴と黄黴を多量に発生した。またテルペン油に固体物質0.1g添加し、これを水虫による患部に塗布すると「カユミ」もとまり、短時日で患部は乾き治癒した。実験中ではあるが「ガン」の治療にも効果がある。

この固体部は濃緑色を呈しているがさらに溶媒精製、吸着剤処理クロマト分別、イオン交換樹脂処理等によつてさらに純度を高めることができる。活性炭で脱色し溶剤から再結晶

① 日本国特許庁 公開特許公報

⑪特開昭 48 80710

⑬公開日 昭48.(1973)10.29

⑭特願昭 47-10092

⑮出願日 昭47.(1972)1.27

審査請求 未請求 (全2頁)

庁内整理番号 ⑤日本分類

6224 44 30 A1
6224 44 30 A31

したものは白色結晶で、微量で非常に効果があつた。

撚き立ての「モチ」をとり、笹の葉を粉末にしたもの約1g多添加したものと、添加しないものを取り、これを同一の容器に入れ19℃内外に放置すると添加しないものは4日後毛のような黴を多量に発生し9日後には黒黴と黄黴とを多量に発生したが、添加したものは1ヶ月後にも何等黴の発生を認めなかつた。また笹の葉の有機溶媒抽出物そのまゝでも試験したが同様な効果があつた。

本方法の実施にあたり、分散、乳化等をよくするため無害な増量剤、界面活性剤等を加えても差支えない。

次に実施例を示す。

実 施 例

冬季室温で約1週間風乾して得た笹の葉を細片し9.2gをベンゾールで抽出し室温15℃で濃緑褐色軟固体の物質約5gを得た。このものにアセトン25mlを加え30分間還流加熱し、熱時すばやくろ別し、ろ紙上の不溶部は熱アセトン20mlにて洗滌し、ろ液及び洗液は合し水を加えてアセトンを約80gアセトンとなし、加熱し透明な液となした後、0℃に1晩冷却し析出物を得た。収量約1.1gこの物質は上記のような防菌、滅菌並びに制ガン作用を有していた。これを活性炭で脱色し溶媒から再結晶したものは白色結晶をなし微量で上記の効果を一層よく表わした。

熊笹の葉以外のものも同様な効果があつた。

特許請求範囲

- (1) 本文に詳記したように笹類の葉を有機溶媒（特に極性基をもつもの）で抽出し、抽出物より溶媒を蒸留除去し、残留物に溶媒を加え、そのまま又は加温したのち冷却し或は熱時不溶性物質を除去し熱時透明な溶液をとり冷却し固体部を分取するか或はさらにこれを脱色精製することを特徴とする笹類の葉より優れた防黴、滅菌並びに制ガン作用を有する物質の濃縮法。
- (2) 本文に詳記したように笹類の葉を粉末にしたもの又はこれの有機溶媒抽出物を添加することを特徴とする防黴、滅菌制ガン法。